

磐城春秋

第一號

發行所 磐城平田市
社 秋春城平
八六三二話電
人副印行發輯
水 稻 木 高
所 刷 印 平
版 活 平

【錢十四部一價定】

發刊の辭

高木 稻水

眞實を眞實として語り合ひ
信念を信念として吐露して
行けぬ所にどうして國家の
總力を發揮し得よう。耶穌
は「眞理は汝等に自由を得
させしめし」と述べてゐる。
眞理のない所に自由なく、
自由のない所に人間の眞劍
な活動は生れて來ない。形
式や宣傳から生れて來るも
のは表面的な虚偽の行動に
過ぎない、戦争を通じて言
論を抑壓し、思想を統制し
た我國が「國民總躍起」を
聲を大にして叫びながらも
心からの一億國民の協力を
得ることができず、遂に敗
戦の悲劇を演ぜざるを得な
かつたのもまた當然といは
ねばならぬ。

なき弱い民衆の味方となつ
て正義のために戦ふ所にそ
の本來の使命がある。民衆
に代つて眞實を語り、信念
を吐露し、一部のゆき過ぎ
を是正し、社會悪を除去
し、以てより好い社會を建
設してゆく所にその使命が
ある。輿論とは正しいゆが
められざる民衆の聲であつ
て決して指導者のかけ聲や
官制團體の宣傳ではない。
本紙が「磐城春秋」といふ
變つた名前をつけたのは「
春秋」には筆誅(文章を以
て悪い人間を誅する)といふ
意味を含んでゐるからであ
る。國家の混乱につけこん
で邪惡なるものの白晝堂々
と横行する現代には公正な
立場に立つて民衆の正義感
を満足せしめる報道と言論
が特に必要である。信する
終戦以來自分は権現塚の陋
屋に閉ぢこもつて以上のや
うな信念の下にたごとへん

な小さな型の新聞でも好い
から出して見たいと念願し
て機を熟するのを待つてゐ
た。幾人かの先輩知友で新
聞の發行をそのかす者も
あつた。しかし微力にして
印刷その他の點で惱みつづ
け、一時は全然計畫を放棄
して見たこともあつた程で
ある。然るに今回愈々機熟
して非常な熱意と多大の犠
牲を拂つて永野孝夫君が營
業一切を、坂本昌藏君が印
刷一切を引受けて協力して
くれる事になつたので漸く
宿望を達し、ここに活字と
いふ武器を執つて立ち上つ
た次第である。自分は生え
ぬきの新聞人ではない。し
かし新しい酒は新しい
皮袋に盛らなければならぬ
新日本建設のための地方新
聞は決して従來の地方新聞
の型に墮してはならぬ。素
人であるが故に自分は地方
紙の新らしい型を作つてゆ
く資格があると信じてゐる

本紙は型は小なりと雖も、
一字一句自分の信念のほと
ばしりである。しかしいか
なる利器も補給が充分でな
ければ充分にその能力を發
揮する事ができぬ。二十三
万の石城人に對し、購讀に
廣告に或は資料の提供に全
幅の御支援を賜はらんこと
を切望する次第である。

貝殼追放

△食糧問題が深刻となつて
來た。従つて人心もけわ
しくなつて來てゐる。「貧
すりや食す」「脊に腹は
代へられぬ」といふわけ
で滔々として身勝手な不
正行動、關行動が横行し
てゐる。敗戦國民の辿ら
ねばならぬ道か。
△過去十數年の辛勞を重ね
た貯金が近頃の副食物の
高い代金として拂ひ出さ
れてをり、奥さんの箆笥
の中も寂しくなつて來る
のを嘆く俸給生活者もあ
れば、ありあまる財産を
擁しながらまた同胞の苦
難も顧みず金を儲けよう
とあせつてゐる野蠻りも
ある。
△統制の枠がはぶされたの
で一時は目の玉の出る程
高かつた野菜やお魚類が
下落して來た事は消費者
にとつて結構この上なし
だ。

西村屋藥局

藥劑師 鈴木新右衛門
平市三丁目
電話 三番

神谷工業原料

株式會社
社長 神谷兼次郎
平市田町五六
電話 六五六番
六六五番

平土地住宅有限會社

正木昌次郎
平市二丁目
電話 二〇二番

釜屋商店

平市五丁目
電話 九番九九番

株式會社 ホシ藥舖

平市三丁目五
電話 四二九番

平市の戦災被害

焼失家屋七七三 死傷者 八六

前後三回の戦災に依つて平市はどれだけの損害を被つたか、當時は官民の努力に依つて被害を最小限度に食ひとめたとばかり報道されて、その真相は数字的にはつきりと知られてゐなかつたが、終戦後市當局の發表する所によると焼失家屋七七三戸死傷者八六名の他強制疎開による家屋の取りこわし、三百二十二戸といふ数字があげられてゐる。他第二次の第一國民學校に投下された爆弾に依つて、第一校の全校舎及隣接の平女子商業は全壊し、平高女、平區裁判所の他十棟が半壊中小破程度の被害は全市千五百戸に及んでゐる。

當時は帝都防衛のため、市警防團の大事なガソリンポンプ四臺が供出されてをたため、活動が充分でなかつたといはれてをり、しかもそのポンプは東京では水道の栓にあはなくて、實際の役にはたたなかつたといはれてをるに至つては何のための供出ぞやと、その無計畫を責めたる次第である。

三次にわたる被害の詳細は次の通りである。

第一次三月十日の午前一時二十七分の焼夷弾攻撃で、當夜は風もあり市民の油断もあり、被害區域も廣く、罹災者も家財の大部分を焼いてしまつた状況であつた。

被害區域は紺屋町、材木町、研町古銀治町、堂ノ前、長橋町で焼失家屋五百八十五戸、罹災民二千四百七十五人、死者十六名、この中には柳田榮太郎氏一家八名の全滅

といふ悲惨なできごとがあつた。負傷者五名。

第二次七月廿六日午前十時四十分の爆弾攻撃で、この時は平第一校校長渡邊重三、訓導瓜田壽、首重傷五十三名の犠牲を出した。

第三次七月廿八日午後九時五十分の焼夷弾攻撃で、田町、三丁目、南町、大町、堂根町、十五丁目、八十八戸が焼失し、罹災した者七百七十五人、この時死者三名負傷者六名を出した。

市は「復興に關する基本的構想」として平驛を新川南側に移轉し、ここに一戸五十坪あたりとして八百戸を建設、第一次戦災地跡は區劃整理の上四百八十七戸を建設、更に戦災した校舎の新築、市廳舎の新築等に三百九十四萬圓の豫算を計上發表してゐる。

磐城高等女學校保護者會評議員會は、十日午後一時から同校に開催、石川友次郎氏死亡後欠員中であつた會長に大嶺庫氏を推薦、十九年度決算二十年度豫算を承認決定したが、その席上現

先生方への朗報

— 磐女保護會の美譽 —

在の物價騰貴の狀態では先生方の生活も容易でなから保護者會としては何をおいても先生に落着いて、明るい氣持で教壇に立つて貰ふのが先決問題である。そのためには月々相當額の金を

祝創刊

日本社會黨常務支部

大井川幸隆

瀨尾藥局

平市 楳橋小路
電話 五五三

木村五郎平

平市 新川町
電話 七九三

大黒屋

星製藥株式會社

福島工場

平市 五丁目二八
電話 六六八番
電話 三五三

有限會社
星アンブル工業所

平市 佃町
電話 七四番

援助してあげたら好からうといふ議が出で、二十年度は早速豫算の中に一月四圓平均を差しあげる事に決定、廿一年度は會費を値上げしてそれを繼續する事になつた。

磐中は目下方部別父兄會を開催中だが、同じやうな趣旨で先生方に月々金を贈ることになる模様であり、市内國民學校保護會にも同様な動きが見えるのは嬉しい傾向である。先生方の臺所を潤すことがまづ教育明文化の第一歩である。

安藤侯鹽釜に

平市民が戦力増強のためにと嚴肅な儀式まで行つて供出した、松ヶ岡公園の安藤信正侯の銅像が目的地の釜石迄ゆきつかずに、宮城縣鹽釜市に滞留中終戦となり市民の誠意も空しく、風雨にさらされてゐるいはれてゐる。復員して市民に迎へられるかどうかは、今後の情勢によることであらうが一話題を提供するものといへる。

日用品交換所

市民と農村との物資交流に期待さる

師走の街頭には群小の闇商人が氾濫し、それをとりまく市民の顔には憂鬱の影を宿してゐる、何故闇商人の横行にまかして店舗を持つ商家が公然と店を開いてくれないのか、闇で物を買ねばならんからだ、もし物と物とが交換する事ができれば所謂闇相場がなくなつてゆく、特に農村で生産される物と、町の人の持つてゐる物とが明朗に交換できる設備があれば市民にとつても農村の人にとつても非常な便益となる。縣物資更生協會では、この點に鑑みて福島、若松、郡山、白河等に日用品交換所を常設して非常に重寶がられて盛況を呈してゐるが、平市でも廿日頃から三丁目中や洋服店に商工經濟支部及平市後援の下に常設される事になつた交換取扱品は衣類、身廻品、學用品、文房具、家具、勝

婦人公民講座

新發足した磐城文化協會では新たに參政權を獲得した婦人を對象として、去る一日から三日間石城看護婦學校で公民講座を開設してその啓蒙運動を行つたが、受講者五十餘名に達し、非常な盛況であつた。

題目及講師は、第一日は平商教諭の山崎千秋氏の「婦人と政治生活」及び高木稻水氏の「時事解説」第二日は警女教諭鈴木光四郎氏の「婦人參政權運動」及び庶民金庫事務諸橋敬一郎氏の「經濟問題」第三日目は女教諭五十嵐由紀子氏の「婦人と救養」及び辯護士大

必要無く、評價委員は永山小平、馬目精一の二君があらる、中野勇夫、酒井温夫、森川泰一郎氏等の舊廣告研究会のメンバーが、これこそ町と農村との物資を交流せしめ、闇をなくする手段である、非常に期待をかける。

平市の有権者

婦人が断然多い

平市の新有権者数は、男子五千七百八十五名、女子八千四百四十三名、合計一萬四千二百二十八名となつてをり、女子が二千六百五十九名も多い。来るべき總選挙で問題になるのは、廿歳から廿四歳迄の今回の選挙人資格の年齢低下に依つて選挙權を得た若い男子女子の動きである、見られてゐる。一般女子の有権者で妻となつてゐるものは大体は夫と同一歩調をとつて當票にあらはれるだらうが、若い獨身の女子は案外棄權率も少く、新しい今後の政

十嵐由紀子さんは本年廿二歳東京女子大學の出身で講師唯一人の婦人であり、その堂々たる聲量と態度、豊富な内容と、新らしくて含蓄に富んだその表現法は聴講生一同を魅了した感があつた。聴講した婦人は何れも中等教育以上を終つた若い婦人達で毎晩正確に時間を守つて開講を待ち、その熱心な聴講態度には文協でも感心してゐる。

内科小兒科 渡邊 醫院 平市八幡小路 電八二四	産科婦人科 五十嵐 醫院 平市新川町 電三六九	内科小兒科 酒井 醫院 平市南町 電五五	内科小兒科 大森 醫院 平市南町 電二五八	内科小兒科 金成 醫院 平市鎌田町 電三五八	外科 上田 醫院 平市南町 電一二九	耳鼻科咽喉科 鈴木 醫院 平市田町 電六一三	齒學得業士 伊藤 一人 平市才植小路 電三四五
----------------------------------	----------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	-----------------------------	---------------------------------	----------------------------------

新聞物語

子供が生れるとその名前を何とつけようかと一苦勞するものだが、新聞や雑誌を出す場合にもいろいろと

その題號の選定に苦勞をする。生れ出づるものに對する前途の多幸を祈る親心ともいふべきであらう。

あまり堂々たる名前をつける名負けをするといつて平凡な名前を選ぶ傾向もあれば、姓名判断に依つて名前が運命を左右するといふのでその字の對數を嚴密に調べあげる人もある。

ロ、マタン、ジュニナル等であるが、フイガロは床屋といふ譯語がある。江戸時代の式亭三馬の「浮世床」といふ滑稽小説を思ひ合せられて面白と思ふ。床屋の噂の發生宣傳の温床なる事は東西變りがないものに見える。マタンは番犬といふ意味だ。いろ／＼の事を警戒し、場合に依つては吠えつきかみつくといふわけだ。ジュニナルはジャナーナリズムの語源だから説明の要はいるまい。

英國は一般に上品だ。ロンドンタイムズ、デーリークロニクル、デーリーメール、モーニングポスト、マシネスターガーデアンなどがあるが、タイムズは日報、時報であり、クロニクルは記録、年代記、メールポストは郵便、ガーデアンは後見人、守護神で新聞の使命を謳つてゐる所に面白味がある。

米國となる國の歴史と

民主主義の國民性がはつきり新聞名にあらはれてゐる。ニューヨークタイムズはあたりまへだが、ニューヨークトリビュン、シカゴトリビュンなど、トリビュンを冠したもののがその代表紙に二つもある。トリビュンは護民官といふ譯語になる。護民官といふのは昔ローマが貴族や官僚の元老院が横暴を極めて平民が壓制に苦しんだ時代に平民が元老院と抗争して設ける事になつた官で定員二人、後では五人が平民から選み出されて任命され、元老院の決定した事でも平民の不利益を認

定すれば訂正を求め、事ができたし、大統領の死刑の宣告を下した裁判のやりなほしを求め、事迄できる力を持つてゐた。輿論の國アメリカらしい新聞の題號であると思ふ。明治のはじめには何々自由新聞といふ名稱がかなり流行したが、思ひ切つた新聞の使命を謳つたものが生れなかつたのはどういふわけであらう。

恐らくは國情、國の歴史は適當な譯語や民衆にわかり易い熟語が発見されなかつたためであらう。

本紙の「春秋」は「文藝春秋」といふ有名な雑誌があり、民報に隈畔春秋といふ欄があるから敢へて異にするに足らんが、新聞そのものにつけたものはまだないやうである。「春秋」に十有八年」など年月の意に用ひられるからタイムズの意味もあり「孔子春秋を成して亂臣賊子恐る」(孟子)といつて春秋は元來支那の昔の魯國の歴史の本名であるからクロニクルの意味にもとれるし、孟子のことばから筆誅といふ意を含んで用ひられてゐるからマタン、ガーデアン、トリビュンの意味も持つてゐる。

序にいふが明治七年平で警前新聞といふのが發行されてゐる。地方新聞で一番早いのは明治元年の崎陽新聞(長崎)二年の肥前藩日誌三年の巖手日報(盛岡)などである。矢張これらの縣は先進縣だつたといふ感じがする。

よろづ案内
一回五圓 御利用下さい
女給さん募集
平 會 館
市内貸事務所
平市才道小路
米倉勉三郎
市内事務所
貸 家
姓名 在 社
ラジヲ修理
部品、電氣器具並販賣
古山電氣商會
平市二丁目
電話四二八
女事務員委細面談 乞來社
磐城春秋社
おでん 一平
公會堂 通
新春號ヨリ月刊讀賣豫約申
受ケマス

皆様の
磐城地方の新聞
磐城春秋
一ヶ月一圓二十錢(月三回)
あらゆる種類の投書歡迎
購讀及廣告申込所
磐城春秋社
平市田町六八
電話五三三